

B-7 天然洗淨剤南米ナリ原産 " Soap Bark " の洗淨適性について  
お茶の水女子大家政 中原ひとみ 林 雅子 矢部華房

目的 無公害洗剤の模索を目的として、南米ナリ原産 " Soap Bark " ( *Quilaja Saponaria* ) の天然洗淨剤としての適性をしらべ、実用の可能性を検討した。

方法 さいかち・むくろじなど、身近に入手できる国産天然洗淨剤16種を取扱った。花王ケンキの資料\*にもとずき、本輸入品などの程度の適性をもつかき、文献と同一試験方法を用いて、相互比較を試みた。主要項目は、試料10gに水20を相元80℃、7hrs抽出した原液につき行ない、一部はさらに10倍希釈液について評価を試みた。洗淨力試験は従来法のほか新JIS原案として考慮されていりエリアカ汚染布の一封比較法を用いた。

結果 (1) PH: ナシ灰11.8, 弱アルカリ洗剤(0.2%) 9.8, " Soap Bark " 6.3, さいかち・むくろじ・かたばみ等5.5前後であった。(2) 表面張力: [水72 (dyne/cm)], " Soap Bark " 47.1, さいかち(サヤ)52, むくろじ(果実)43, とほぼ同等。かたばみ・米ぬか等65前後、に比しかなりの表面活性がある。但し、弱アルカリ洗剤(0.2%)は32.4であった。(3) 起泡力: むくろじ・弱アルカリ洗剤よりやや劣るが、さいかち・くちなし・元ゴのま等のサボニ含有植物に比し、稀段にすぐれた起泡力を示し、泡安定性は洗剤と同等。(4) 洗淨力: 天然エリアカによる一封比較法で、弱アルカリ洗剤(0.2%)を100とした相対洗淨力は、原液83, 1/10希釈液89, 1/100希釈液85であった。花王テータによるKAO 143人工汚染布(肌着ヨゴレのモデル)によれば、さいかち・むくろじ等が原液で78程度であるので、" Soap Bark " 希釈液は、有効利用の道もありそうである。

\* " 植物洗淨剤 " 花王生活科学研究所(第27回日本家政学会総会展示資料)(昭50.9)